2026 年 11 月 16 日

各 位

会 社 名：ヤマト モビリティ & Mfg.株式会社
代表者名代表取締役：鈴木昭寿
（スタンダード･コード 7886）
問合せ先：執行役員管理本部長 岩本 滋行
（TEL. 03－3834－3111）

コンバージョン EV の稼働率向上へ

故障診断･整備支援ツール「JEMY EV STUDIO」を独自開発

将来的な遠隔モニタリングサービスの実現を目指す

車両状態の把握と故障解析の効率化により、修理時間の短縮とダウンタイム削減を支援。商用 EV の安定運用に貢献します。



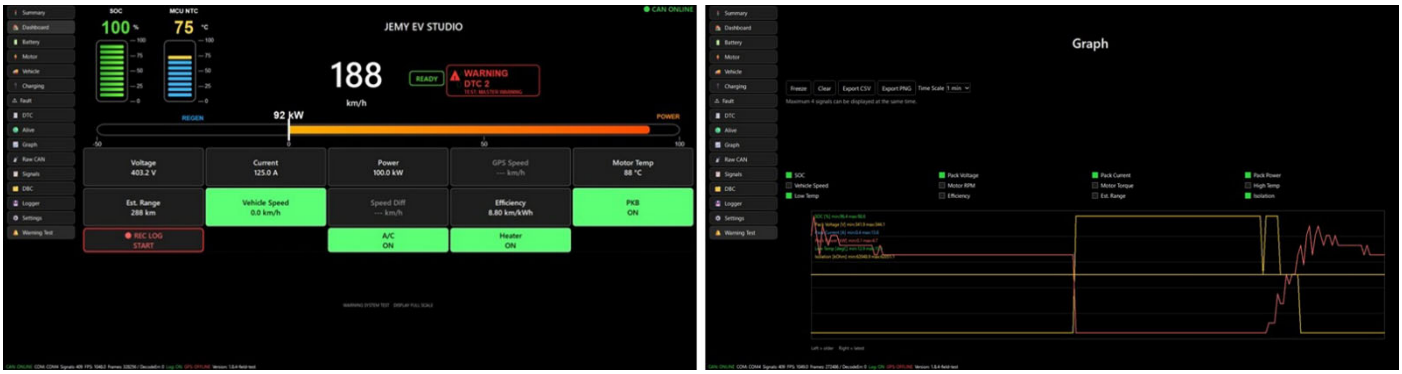


ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社（代表取締役：鈴木 昭寿、本社：埼玉県川越市、以下「ヤマト･モビリティ」）は、自社製コンバージョン EV 向けの故障診断･整備支援ツール「JEMY EV STUDIO」を独自開発し、運用を開始いたしましたのでお知らせいたします。

ヤマトモビリティが展開する EV コンバージョンキットは、既存の内燃機関搭載トラックを電動化することで車両資産を有効活用しながら CO_2排出削減に貢献するソリューションです。2025 年の三菱ふそうキャンター向け EV コンバージョンキットの発売に続き、本年 11 月には日産アトラス向け EV コンバージョンキットの量産および受注販売を開始いたしました。今後の普及拡大を見据え、商品開発に加えてアフターサービス体制の強化にも取り組んでおります。

一方で、商用車は日々の物流や事業活動を支える重要な経営資産であり、万一の車両トラブル発生時には迅速な復旧が求められます。そのため、車両情報を適切に把握し、故障発生時の原因解析を効率化することで、車両のダウンタイムを最小化することが重要な課題となっています。

こうした背景のもと、ヤマトモビリティは車両状態の把握と故障診断を効率化し、お客様車両の安定運用を支援するため、故障診断・整備支援ツール「JEMY EV STUDIO」を独自開発いたしました。



※開発中のデモ画面であり、実際の状況を表すものではありません

本ツールは、EV コンバージョン車両の状態をわかりやすく把握し、車両情報の可視化・記録を通じて故障原因の解析を支援するツールです。
これにより、整備担当者による状況確認や異常解析の効率化を図り、修理時間の短縮と車両ダウンタイムの削減を支援するとともに、お客様車両の稼働率向上に寄与することを目指します。
現在は社内での開発・整備業務およびアフターサービスで活用しておりますが、今後は LTE 通信を活用した遠隔モニタリング機能の開発を検討しております。
遠隔モニタリング機能が実現した場合、トラブル発生時に現地へ技術者を派遣する前に車両状態を把握することが可能となり、故障状況の事前把握や原因解析の効率化、必要部品の準備などによる対応品質の向上が期待されます。
これにより、当社サービス拠点から離れた地域においても、お客様に安心して EV コンバージョントラックをご利用いただける環境づくりを進めるとともに、地域を問わず車両状態を把握できる仕組みの構築を目指してまいります。

ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社
代表取締役 鈴木 昭寿 コメント
「“車両を止めない、仕事を止めない”を目指し、『JEMY EV STUDIO』を開発いたしました。本ツールは、車両情報の可視化と故障原因の解析を支援することで、ダウンタイムの最小化とお客様車両の稼働率向上への貢献を目指すものです。今後は遠隔モニタリング機能の実現も視野に入れ、全国のお客様により安心して EV コンバージョントラ

ックをご利用いただけるサービス体制の構築を進めてまいります。」

ヤマトモビリティは今後も、EV コンバージョン技術の開発に加え、車両の運用・保守を支えるサービス体制の強化を進めることで、お客様の事業継続と脱炭素化の両立を支援し、持続可能な物流社会の実現に貢献してまいります。

当社の EV コンバージョン事業および日産アトラス(F24 型)EV コンバージョン詳細については、下記をご参照ください。

■ EV コンバージョン事業
https://www.yamato-in.co.jp/ev/conversion.html

■ 日産アトラス(F24 型)EV コンバージョン
https://www.yamato-in.co.jp/ev/atlas.html

■本件に関するお問い合わせ先
ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社 管理本部 IR・広報担当
e-mail：yamato-ir@yamato-in.co.jp